2026 年 11 月 27 日

各　位

株式会社 北海道銀行

別海町および東京大学との三者包括連携協定の締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、2026 年 11 月 27 日付で北海道別海町（町長 曽根 興三）および国立大学法人東京大学社会連携本部（社会連携本部長 津田 敦）と「三者包括連携協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定は、三者が相互に連携・協力し、それぞれが有する資源や知見を活用することで、地域課題の解決や地域社会の持続的な発展、人材育成および学術の振興等に寄与することを目的とするものです。

当行は、今後も産官学金連携のハブとして、自治体や大学等との連携を深め、地域課題の解決に取り組んでまいります。

記

１．連携事項

（1）地域の活性化に関する事項
（2）まちづくりに関する事項
（3）地域創生の推進に関する事項
（4）人材及び知的資源の交流に関する事項
（5）学術研究の成果の交流に関する事項
（6）その他本協定の目的に沿う事項

２．本連携協定締結の経緯

当行は、別海町および別海町商工会と、まちづくりに関する意見交換を重ね、2026 年 5 月 28 日に別海町と「持続可能なまちづくりの実現に向けた包括連携協定」を締結しました。以降、副業人材の活用支援をはじめ、地域課題の解決や地域経済の活性化に向けた連携を進めております。

今般、こうした取組を発展させるため、東京大学の教育・研究の知見や知的資源を活用し、学生等による地域課題解決活動や産官学金連携の具体化を目指して、三者包括連携協定を締結しました。

なお、東京大学が社会課題解決や自治体との連携を目的として地域金融機関と協定を締結するのは今回が初めてです。今後は企業版ふるさと納税の活用についても検討してまいります。

３．締結式の様子【2026 年 11 月 27 日（金）、別海町役場】



写真左から
国立大学法人 東京大学　社会連携本部長　津田　敦　様
別海町　町長　曽根　興三　様
北海道銀行　代表取締役副頭取　髙田　芳政

４．該当するＳＤＧs の目標



SDGs は　Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDG s 宣言」を表明しました。

以　上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
北海道銀行　地域創生室　久保、舟橋　Tel(011)233-1274
広報 CSR 室　茶村、石水　Tel(011)233-1005

北海道銀行